

## 中期財政見通し（平成20年3月）

### 1. 中期財政見通しの策定にあたって

本市の将来的な財政収支の姿を見通すために策定しました。当面は基金の取崩しによって収支の均衡を図っていくこととなりますが、広範かつ多様な市民ニーズに的確に対応できるよう、今後とも事業の選択と集中を進めるとともに、より一層の行財政改革に取り組んでいきます。

### 2. 収支見通し

(単位:億円)

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
<b>1 歳 入 合 計</b>	<b>3,252</b>	<b>3,464</b>	<b>3,537</b>	<b>3,325</b>	<b>3,370</b>	<b>3,160</b>	<b>3,213</b>
市 税	1,220	1,229	1,245	1,259	1,253	1,267	1,282
国・県支出金	469	537	576	515	518	487	504
地方交付税	456	440	437	442	446	454	465
地方債	428	580	611	451	432	361	360
その他	679	678	668	658	721	591	602
<b>2 歳 出 合 計</b>	<b>3,307</b>	<b>3,513</b>	<b>3,574</b>	<b>3,357</b>	<b>3,400</b>	<b>3,177</b>	<b>3,236</b>
経常的経費	2,398	2,403	2,412	2,443	2,462	2,500	2,546
ア 人件費	584	565	546	532	512	502	493
イ 公債費	355	352	355	374	386	408	427
ウ その他	1,459	1,486	1,511	1,537	1,564	1,590	1,626
投資的経費	647	864	919	685	714	522	535
ア 合併建設計画事業	171	318	289	265	244	195	159
イ その他建設事業	476	546	630	420	470	327	376
その他	262	246	243	229	224	155	155
<b>3 収 支 差 引</b>	<b>55</b>	<b>49</b>	<b>37</b>	<b>32</b>	<b>30</b>	<b>17</b>	<b>23</b>
<b>行 財 政 改 革 効 果</b>		<b>5</b>	<b>10</b>	<b>15</b>	<b>20</b>	<b>25</b>	<b>30</b>
<b>再 差 引</b>	<b>55</b>	<b>44</b>	<b>27</b>	<b>17</b>	<b>10</b>	<b>8</b>	<b>7</b>
<b>基 金 残 高</b>	<b>239</b>	<b>195</b>	<b>168</b>	<b>151</b>	<b>141</b>	<b>149</b>	<b>156</b>

19年度末基金残高見込み                      294

推計手法      試算の期間は、平成20年度予算を基礎に、合併建設計画を踏え平成26年度までとしています。対象は一般会計です。

歳 入	現行の税制度を前提としたうえで、市税は各税目ごとに試算し、国・県支出金は基本的に事業費連動としました。地方交付税は19年度決定額を基礎に推計し、地方債は建設事業費に連動して積み上げ推計しました。
歳 出	人件費は定期昇給率を1.0%とし、定員については適正化計画に基づく削減数を見込んで推計しました。公債費は償還計画に基づき所要額を積み上げたほか、投資的経費については各事業の建設計画に基づき推計しました。